



アメリカの紅茶の巨匠が
産み出した至福の一杯

どれでも1杯 ¥660 (税込)



BLACK TEAS
紅茶

No.55 | **LORD BERGAMOT**
ロードベルガモット

スミスティーの一番人気のシグネチャーブレンドです。伝統的なアールグレイより一段と豊かな味と香りはセイロン産のウバ&ディンブラと、アッサムバレーから厳選された茶葉の芸術的なコンビネーションから生まれます。ほんのり香るベルガモットは南イタリア産を使用。

No.33 | **MASALA CHAI**
マサラチャイ

インドでは「チャイ」とは泡立てたミルクと出される甘いスパイスティーのこと。スミスのチャイはアッサムのセカンドフラッシュと香り高いジンジャールート、カシア（シナモン）、黒胡椒、クローブ、カルダモンがブレンドされた真のチャイ好きも納得の本格的なブレンドです。

No.23 | **KANDY**
カンディー

スリランカの中でも最も美しい町のひとつ、カンディーからその名をとったブレンドは熟成し豊潤なディンブラと香り高いウバ、そして少量の高地産のヌワラエリアをブレンド。一日のどの時間でも楽しめる一杯です。



GREEN&WHITE TEAS
緑茶・白茶

No.96 | **JASMINE SILVER TIP**
ジャスミンシルバーティップ

中国の福建省で毎年5月に収穫されるこの緑茶は繊細で柔らかな茶葉が特徴です。風味を保つために水蒸気をあてた後、開きかけで薫り始めたばかりのジャスミンのつぼみの山に混ぜられ、完璧なマリアージュに。

No.1912 | **ROSE CITY GENMAICHA**
ローズシティ玄米茶

日本の玄米茶をポルトランド風においしくアレンジした緑茶。軽めに香ばしく焙煎した玄米と爽やかなベルガモットのミスマッチが魅力的な一杯。隠し味のマヌカハニーの甘味がお茶全体の味を整えてくれています。

No.39 | **FEZ**
フェズ

イスラム男性の帽子を名に冠したティー。希少な中国産の緑茶と、アメリカ北西部産の香り高いスペアミントの組み合わせにオーストラリア産のレモンマートルの香りが微かに漂うブレンド。古きモロッコを思い起こさせるブレンドは、友人と語らう夕べにぴったりです。



STORY

アメリカの紅茶の巨匠が 産み出した至福の一杯

どれでも1杯 ¥660 (税込)



HERBAL INFUSIONS ハーブティー

No.67 | MEADOW メドウ

色鮮やかな花卉やハーブがのぞく美しいサシェも楽しめます。東欧とエジプト両方の上質なカモミールとオレゴンで収穫された豊かな香りのヒソップ、南アメリカケープ産のルイボス、ローズペタル、リンデンフラワーをブレンド。太陽の眩しい光を感じられるような至福のハーバルティーです。

No.45 | PEPPERMINT LEAVES ペパーミントリーフズ

ペパーミントティーファンも唸らせる芳醇なミントティー！太平洋北西部、つまりオレゴンとワシントンは世界一のペパーミントの産地。完璧なリーフサイズの為に丁寧に選別された茶葉は豊潤で、クリーミーな味わいとくっきりとしたミントの後味が楽しめます。午後のひとときや、夕食の後におすすめです。

No.13 | RED NECTAR レッドネクター

レッドブッシュとして知られる南アフリカのウェスタンケープ産のルイボスをブレンド。さらにハニーブッシュとフルーツの香りをトッピング。少し甘みがあり、ホットでもアイスでも存分に楽しめるミディアムボディのブレンドです。妊婦さんへのギフトにも。

アメリカ・ポートランドに拠点を持つスティーブンスミスティーメーカーは、米国茶業界で40年以上のキャリアを持つ、スティーブンスミス氏が、お茶をひとつ上の芸術として形づくりたいという想いから立ち上げた高品質なフルリーフティーブランドです。

長年の経験を通して築き上げた彼の友人たちである世界中の生産者から、厳選した茶葉だけを集め、ポートランドのティーアトリエで、厳正な品質チェック、テイスティングのもと少量生産でブレンドを行っています。紅茶はすべての産地が明確で、カートンごとにバッチナンバーが付されており、詳細を確認することができます。

1990年に10億ドルだったアメリカの紅茶は、消費量が2015年には100億ドルに成長。

その立役者の一人とも言われ、世界中のスターバックスで販売されていた「Tazo Tea」の創立者が他ならぬこのスティーブンスミス氏です。Tazo Tea以外にも全米の小売店で販売されている「Stash Tea」の創立にもかかわり、そのキャリアのほぼすべてをお茶業界に費やしてきたスミス氏。若い頃から良質な茶葉の探究に熱心でインド、スリランカ、中国、エチオピア、エジプト、スマトラ、南アメリカなど、世界中の産地を回って、1日に600種類をテイスティングしていたことも。その人並はずれた味覚と嗅覚は、有名な紅茶の専門書の著者に「スティーブンスミスは過去5000年に数人といない逸材だ。彼のブレンドするお茶はとにかく素晴らしい。」と評されるほど。

2006年にTazoTeaをスターバックスに売却後、スミス氏はもうお茶に関して思い残すことはない、フランスのプロヴァンス地方にてご家族と引退生活を楽しんでいました。しかし、フランスで出会った素晴らしいショコラティエやアルチザンにインスパイアされ、紅茶をひとつ上の芸術として形作りたいと決心。アメリカに帰国後、2009年に米国ポートランドにて自らの名前を冠したブランド「Steven Smith Teamaker」立ち上げました。

スティーブンスミス氏は2015年3月に逝去されました。この悲報は、アメリカ国内でもNYタイムスなどで「アメリカ紅茶界のマルコポーロ」と称されるなど大きく報じられました。現在では、Tazo Tea時代からの20年以上の弟子であったTony Tellin氏がスミス氏の後を継いでマスターティーメーカーとして茶葉の選定やブレンドを行っています。

